

今回は今食べごろの『ヤマモモ』と9月頃に花を咲かす『トウ lindウ』について、紹介します。

ヤマモモ (*Myrica rubra* Sieb. et Zucc.)

【分布】本州中部～沖縄、朝鮮半島、中国、台湾、フィリピン

【形態】高さは15mほどにもなる。幹は直立して、分岐が多い。葉は長楕円型で小枝に密につく。

【薬用部位】樹皮(楊梅皮)、果実(楊梅)

【成分】樹皮:ミリスチリン・ミリセチン(フラボノイド)、タンニン

果実:ミリスチリン(フラボノイド)、リンゴ酸、シュウ酸クエン酸、アントシアニジンの配合体

【薬効・薬理】心臓機能の亢進、血圧上昇などに効果がある。

タンニンには収れん作用があり、下痢にもよく、殺菌、止血作用もあるので、やけど、腫れ物などにも用いる。



ヤマモモのフルーッソース
おすすめ☆

トウ lindウ (*Gentiana scabra* Bunge)

【生薬名】竜胆

【分布・産地】

竜胆の産地は、中国では主に東北地方及び内蒙古。

【薬用部位】

根および根茎

【形態】

草丈が30～60cm、茎は直立している。葉は対生、卵状皮針形で、長さは3～7cm、幅は1～2cmである。9～10月頃、茎の頂および上部葉えきに数花がそう生し、藍色の花が咲く。花冠は鐘形、長さ4～5cm、先端は5裂しとがる。

【成分】

ゲンチオピクロサイド(苦味配合体)、ゲンチアニン、スウェルチアマリン、ゲンチジン酸、ゲンチアノースなど

【薬効・薬理】

竜胆は苦味健胃薬として使用されている。薬理作用としては、胃液分泌を促し健胃作用、抗菌作用、抗アレルギー作用、血圧降下作用、消炎作用、鎮静作用、保肝及び利胆作用などがあり、消化不良や食欲不振、寝汗、腫物など改善に用いる。

(根及び根茎)
竜胆



トウ lindウの花